



♥ ベネフィットコンサート@バサテナグリーンプラザ

4月9日&10日

被災地へ赤ちゃんのオムツや女性の生理用品など届けようとして女性ならではの救援物資を呼びかけた木下言波さんらが企画したベネフィットコンサート&バザー。

多くの地元アーティストたちが参加し、ジャズ、クラシックなどのバラエティーに富んだライブを行いながら、義援金を募った。

♥ 手をつなぐ親の会 (JSPACC) & シブリング会

4月3日

障害を持つ子供達の日本語を話す親たちが組織するサポートグループ・JSPACCは、被災した福島県いわき市にある障害者の自立支援などを行っている社会福祉法人エル・ファロの利用者や職員たちを支援するための募金活動を行った。

障害者の兄弟・姉妹を持つ子供達の会、シブリングの会代表のショウコさんは「高校では3日もしたら日本の地震のことは話題にならなくなった。とても悲しいです」と話し、これからも募金活動を続けるという。

♥ Woodbridge High School 日本人保護者の会 & Team Kids

4月9日

前回行ったパークセールに加えて、今回はWHSの日本人保護者の会から父親たち10人が参加した。同会とタイアップしているTeam Kidsの子供達、約30人と一緒に、洗車をして義援金を募った。

参加した子供の感想：今回の洗車を通してわずかながらでも貢献できてよかったと思いました。洗車には、日本人以外の方もたくさん来てくれたし、いろんな方に「がんばってね」「一緒に日本を応援しようね」と声をかけてもらって、「日本は一人じゃない」と改めて実感しました。参加できて本当に良かったです！（慧子さん）

参加した父親からの感想：震災発生後、WHS日系人保護者の会は、いち早く募金活動をスタートさせました。その活動を傍で見ていた父親たちも実は何か自分たちにも出来ることはないのか考えていたのです。

日系企業で働く人は、会社により違いがあるにせよ、相



当の打撃を受けており、いわゆる被災者でもあります。そんな父親達にも、支援活動に参加するチャンスが訪れました。WHSに通う自分の子供たちとチームを組み、担当を決め、一日ともに汗を流しました。あるご婦人から、タイ

ヤのホイールを丁寧に洗っている子供の様を見て、何度も何度も、「Thank you」の言葉を掛けて頂き、親も感動した次第でした。これが、日本品質だ、日本は、必ず再生するんだ、そう感じた1日でした。（典彦さん）